授業科目	栄養学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	天本　理恵						
授業概要	本科目では、食物摂取に関わる消化吸収等の人体の仕組みと、食物に含まれるエネルギーと栄養素について、その役割と人体での機能について解説する。また、ライフステージごとの栄養・食事指導、日本人の健康状態の現状と問題点について解説し、福祉に従事する立場から健康・栄養の大切さへの理解を深める。ライフステージでは学童・思春期の栄養管理について重点的に解説する。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 福祉に従事する立場から、栄養について学ぶことの意義を説明できる（DP1-1,DP3-1）。 2. 福祉に従事する立場から、どのような栄養指導を実践すべきかを説明できる（DP1-1,DP3-1）。 3. 学童期、思春期、青年期の生活習慣や食行動上の問題点を説明できる（DP1-1,DP3-1）。 4. 健康や栄養に関連する業種である医師、看護師、保健師、管理栄養士・栄養士などと一緒に福祉の立場から健康や栄養改善のために協力すべき必要性を説明できる（DP1-1,DP3-1）。
理想的レベル	標準的レベル 1～4 を全て達成した上で、福祉に従事する立場から健康の保持・増進、生活習慣改善のために必要な食生活指導を行える実践力を身につけている。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト	20%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21503J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：該当部分の予習を行う。 復習：該当部分の復習を行う。	4

授業計画

第 1 回	栄養学の講義についてのオリエンテーション テーマ：人体の仕組み 個体の構成成分、栄養素、栄養素の消化と吸収について解説する。
第 2 回	テーマ：栄養素の役割（炭水化物） 炭水化物の種類、構造、性質、代謝について解説する。

第 3 回	テーマ：栄養素の役割（たんぱく質） たんぱく質の種類、構造、性質、代謝について解説する。
第 4 回	テーマ：栄養素の役割（脂質） 脂質の種類、構造、性質、代謝について解説する。
第 5 回	テーマ：栄養素の役割（ビタミン） ビタミンの種類、性質、代謝、栄養的意義について解説する。
第 6 回	テーマ：栄養素の役割（ミネラル） ミネラルの種類、性質、代謝、栄養的意義について解説する。
第 7 回	テーマ：栄養素の役割（水・その他の成分） 水、アルコール、生理活性物質について解説する。水分出納、熱中症についても解説する。
第 8 回	テーマ：食品と栄養（食品の分類） 栄養素、食品、料理の分類について解説し、その活用と栄養バランスを整える意義を検討する。
第 9 回	テーマ：健康と栄養 健康増進法、食育基本法、学校給食法、食事摂取基準、国民健康・栄養の現状について解説する。
第 10 回	テーマ：栄養管理(1) エネルギー必要量について各自算出する。また、栄養状態の評価方法について解説し、やせ、肥満、メタボリックシンドロームと栄養の関連について学ぶ。
第 11 回	テーマ：栄養管理(2) 学童期の栄養管理について解説する。
第 12 回	テーマ：栄養管理(3) 思春期の栄養管理について解説する。
第 13 回	テーマ：栄養管理(4) 傷病者(小児疾患）の栄養管理について解説する。
第 14 回	テーマ：栄養管理(5) 傷病者(小児疾患）の栄養管理について解説する。
第 15 回	テーマ：栄養管理(6)、栄養についてまとめ 障がい者（児）の栄養管理について解説する。 福祉に従事する立場から栄養に関する必要知識をまとめる。
テキスト	「健康と医療福祉のための栄養学」（第１版） 渡邉早苗・寺本房子・松谷美和子・土谷昌広・小野若菜子　編著（医歯薬出版） その他必要に応じて資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・坂井建雄他　系統看護学講座専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能１　（医学書院） ・日本人の食事摂取基準・・・厚生労働省 ・国民健康・栄養調査結果・・・厚生労働省 ・学校保健統計調査結果・・・文部科学省 ・食物アレルギー栄養指導の手引き・・・厚生労働省 ・学校給食摂取基準・・・文部科学省
課題に対するフィ	課題はないが、小テストを毎回の講義時間の最後に実施し、解説し、提出となる。小テストは講義時の内容（予習・復習含む）である。小テストの返却は次の講義時となる、質問等にも回答して返却する。

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	【授業以外の学習方法】「解剖学」「生理学」といった人体の仕組みに関する基礎知識を必要とする。福祉に従事する立場から、適切な健康教育や栄養面の改善の重要性について理解しておく。 【メッセージ】食品や栄養素等の基本知識を理解し、適切な健康教育や栄養面の改善を促すことは、心身の成長の過程にある児童・生徒にとって重要なことです。まずは、自身の生活習慣を見つめなおすことからはじめましょう。なお、定期試験の実施詳細については、授業の中で指示します。